



### 3-1

## 安心して子育てができるまちをつくる



### 現状・課題

- 子どもの健康や子育てに関する悩みは、子どもの成長により変化し、その内容も多様なため、切れ目なく対応できる相談体制の整備や子育て支援サービスの充実を図る必要があります。
- 共働き世帯の増加に伴い、保育所などの利用希望が年々増加しており、保育の受け皿不足が続いています。待機児童解消に向けた保育の受け皿の確保が課題となっています。
- 地域で孤立する子育て世帯では、子育てに関する悩みを家庭内で抱え込むことがあります。このため、孤立する子育て世帯への育児支援や子育て世帯が交流できる機会の充実などを図る必要があります。

#### ■保育施設数、申込児童数、待機児童数の推移

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
保育施設数（か所）	5	5	6	6	6
申込児童数（人）	263	273	294	332	362
待機児童数（人）	12	19	2	21	25

【資料】保育所等利用待機児童数調査（各年4月1日時点）



## 施策

### 施策1 安心して子育てができる環境をつくれます

- 子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点を中心とした総合的な子育て支援を促進するとともに、妊娠期から子育て期にわたる、健康管理や相談支援・養育支援などの充実を図ります。
- 子どもの発達状況に応じた巡回相談などの相談体制や保育・教育環境整備を行い、子どもの健やかな成長を支援します。
- 子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、子どもの成長段階や家庭環境に応じた生活支援、学習支援や経済的支援などを進めます。
- 保育需要の高まりに対応できるよう、保育士の確保など保育体制を整備します。
- 待機児童の解消に向け、認定こども園などの設置や民間保育所の定員の拡大などの取組を支援します。
- こども未来館では、子どもの遊びの場を提供し、健やかな成長を促進します。また、親子遊びを通じた子育て家庭の相互の出会いの場をつくとともに、子育て支援グループなどの活動を支援することで、子育てへの不安を解消し、子育て家庭の孤立を防ぎます。

### 施策2 母子の健康づくりを支援します

- ワクチンで防げる病気から子どもを守るために、定められた期間でのワクチン接種を促すなど、定期予防接種の啓発などに取り組みます。
- 乳幼児健診や訪問などにより、母子の健康状況を把握し、適切なアドバイスを行います。また、必要に応じて相談や支援サービスの利用などを促進します。

## まちづくりの成果指標

子育て支援施策に対し、「満足」「やや満足」とした割合	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	29.2%	34%
待機児童数	現状値[2020(令和2)年]	目標値[2030(令和12)年]
	25人	0人
こども未来館での子育て支援事業に対し、「満足」「やや満足」とした割合	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	28.6%	33%



### 3-2

## 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる



### 現状・課題

- グローバル化や情報化が進む中、英語教育の推進や国が進める GIGA スクール構想に対応した ICT 教育などにより、新たな時代に必要とされている資質や能力を育むことが重要となっています。
- 子どもが安心して学校生活を送れるよう、指導主事・スクールカウンセラーなどによる家庭・学校での問題把握やその対応が必要です。
- 子どもが町に住み続けたいとする意識を醸成するため、地域を学び、知る、ふるさと教育により、愛郷心を育む取組が必要です。
- 少子化が進み、児童生徒数が減少しています。また、学校施設の老朽化も進んでいることから、学校の統廃合なども含め、地域の実状に応じ、今後の学校の在り方を検討することが課題となっています。
- 共働き世帯の増加や核家族化の進行により、家庭環境が変化し、子どもの社会性や自立心などが低下している傾向にあるため、地域・家庭と連携し、自然とふれあう機会や文化などを体験できる機会を確保するなど、地域で家庭教育を支える仕組みづくりが求められています。



## 施策

### 施策1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します

- 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組み、子どもの個性や能力を伸ばす教育を推進します。
- 英語教育やICTを活用した教育の推進により、社会情勢に対応した資質や能力を育てます。
- 指導主事・スクールカウンセラーなどの配置により、児童生徒のいじめや不登校などに対する教育相談・指導体制の充実を図ります。
- 児童生徒の障害や発達の状態に応じた特別支援教育を推進します。

### 施策2 地域特性を活かした学校教育を推進します

- 自然環境学習などの特色ある教育を推進し、児童生徒が町の魅力である自然環境にふれ、学ぶ機会の充実を図ります。

### 施策3 安全で快適な教育環境を整備します

- 計画的に小中学校施設の改修・建替を進め、安全で快適な教育環境をつくれます。

### 施策4 家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます

- コミュニティ・スクールの取組の充実を図り、学校と地域のつながりを深めます。
- 通学合宿「夢の体験塾」など、子どもがふるさとの良さにふれる体験活動や地域での活動を通じて、子どもの自主性を伸ばす取組を促進します。
- PTAを中心とし、地域と連携を図り、家庭教育を支える取組を進めます。
- 社会教育関係団体と連携し、青少年の健全育成に取り組みます。

## まちづくりの成果指標

英検3級相当生徒の割合 (中学3年生)	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	46.2%	50%
岡垣町について、「とても好き」「ある程度好き」とした割合※中学生アンケート	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	72.8%	増加

## 住民がともに学び、 ふれあうまちをつくる



### 現状・課題

- 高齢化が進む中、生涯学習の重要性はより高まっており、住民一人ひとりが生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果を活かした地域活動など、生涯学習社会の実現に向けた取組が求められています。
- 本町では、岡垣サンリーアイや公民館、総合グラウンドなどの施設を中心に、文化活動やスポーツなどによる多様な交流活動が行われ、生涯学習の推進につながっています。しかし、住民のライフスタイルの変化などにより、交流する機会が減っている現代においては、文化活動やスポーツなどを通じ、幅広い年代の人が参加しやすい場を広げていくことが必要です。
- 伝統文化や文化財などは、町の歴史を知るための貴重な財産であり、住民に広く周知する必要があります。



▲無形民俗文化財 祇園山笠 (東黒山区)



## 施策

### 施策1 住民が学び、育つ生涯学習の環境をつくります

○余暇を楽しみ、職業能力の向上や地域課題を解決するための知識の習得など、生涯学習のニーズに応えるため、岡垣サンリーアイや公民館などを中心とし、多様な学習機会を提供します。

### 施策2 住民がスポーツを楽しみ、交流する機会を広げます

○体育協会などと連携を図り、住民がスポーツ活動に参加する機会をつくるなど、健康増進とスポーツを通じた住民の交流の輪を広げます。

### 施策3 郷土の歴史・文化を育むまちをつくります

○町の歴史や過去の人々の営みを伝えるため、町の文化財にふれる機会をつくります。

## まちづくりの成果指標

体育協会会員数	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	1,988人	2,100人
岡垣サンリーアイ年間施設利用者数(うち図書館利用者数)※	現状値[2018(平成30)年]	目標値[2030(令和12)年]
	415,249人 (137,739人)	420,000人 (150,000人)
岡垣サンリーアイ文化講座年間受講者数※	現状値[2018(平成30)年]	目標値[2030(令和12)年]
	8,637人	9,000人
公民館講座の新規受講者率	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	12%	30%

※岡垣サンリーアイの成果指標については、新型コロナウイルス感染症の影響が見られない2018(平成30)年を基準としています。